

PFI(BTO方式)		紫波町新庁舎整備事業《紫波町(岩手県)》		
人口:約3万人				
<p>■概要</p> <p>・分散化、老朽化、耐震性などの問題を抱えている庁舎について、本庁舎、第二庁舎、教育委員会事務局及び保健センターを統合した新庁舎を整備するとともに、地域経済の活性化、雇用の創出等を図ることを目的とした事業。</p>				
<p>■事業実施の経緯</p> <p>・本事業は、未利用となっていた紫波中央駅前の町有地(約107,347㎡)において、複数の公民連携事業を行う「オガールプロジェクト」の一つ。</p> <p>・庁舎が昭和38年に建設され、庁舎の分散化、老朽化、耐震性などの様々な問題を抱え、町民の利便性やサービスの低下、円滑な行政運営に支障をきたしていたため、建替えることとした。</p>				
<p>■PPP/PFI手法導入のポイント</p> <p>・平成23年度にPFI導入可能性調査を実施した結果、PFI事業として実施することが適当であるという結果が得られたため、PFI事業で実施することとなった。</p>				
《事業データ》				
施設規模	敷地面積:6,602㎡ 延床面積:6,650㎡			
	・公共施設(庁舎)			
事業方式	PFI(BTO方式)			
事業類型	サービス購入型			
事業期間	平成24年9月～平成42年3月(17年6ヶ月) (設計・建設:2年6ヶ月/維持管理:15年)			
事業費	約34億円(税込、契約金額)			
官民の役割分担	<p>【公共の業務】</p> <p>・庁舎の運営業務</p> <p>【民間事業者の業務】</p> <p>・庁舎の設計、工事監理、建設、維持管理業務</p> <p>・資金調達</p> <p>〈業務分担のポイント〉</p> <p>・長期的かつ包括的な委託を行うことにより、維持管理期間を通じた適時の補修等の実施、中長期的な視点での業務改善の実施、セルフモニタリングの実施等が行われ、長期的な視点での業務全体の最適化により維持管理内容が向上することが期待されたため、設計、工事監理、建設、維持管理を業務範囲とした。</p>			
VFM	特定事業選定時	6%	事業者選定時	6%
事業者	◎は代表企業 ◆は地元企業			
応募グループ	1グループ			
スケジュール	平成23年8月	紫波町新庁舎整備事業PFI導入可能性調査報告書作成		
	平成23年12月	実施方針公表		
	平成24年1月	特定事業の選定		
	平成24年2月	入札公告		
	平成24年6月	落札者の決定		
	平成24年9月	事業契約の締結		
	平成27年4月	開庁		
活用した制度等	木造建築技術先導事業(国土交通省)			

■ PPP/PFI 手法導入の効果

- ・紫波町の支援のもと、民間事業者ならではのプロジェクトマネジメントが奏功し、紫波中央駅前未利用町有地の有効活用を図ることができた。

■ 地域経済の活性化

- ・地元企業によるコンソーシアムの組成や適正な価格での町産材が活用された。



(出所)紫波町公表資料

■ 参考URL

- ・(紫波町HP) <http://www.town.shiwa.iwate.jp/cms/section/soumu/chousya.html>